

〈学会発表〉

- 山口亜弓、高屋成利、富松幸子、西野薫、瀬尾佳世、今井亜希子、太田はるみ、橋本康子. 進行期パーキンソン病患者への回復期リハビリテーション病棟からの退院に向けた服薬支援. 第 45 回日本病院薬剤師会近畿学術大会、和歌山、2024 年 1 月
- 山本大雅、田村哲也、吉尾雅春. 発症 3 ヶ月以上経過している重度片麻痺患者に対し運動量に着目し歩行獲得を目指した症例. 第 36 回大阪府理学療法学術大会. 開催場所大阪, 2024 年 7 月
- 吉村直也、吉尾雅春. 「マラソンをまた走りたい」との希望を持つ右大腿部骨幹部骨折患者. 回復期リハビリテーション病棟協会第 43 回研究大会. 熊本, 2024 年 3 月
- 中垣咲希, 高橋航, 椿野颯汰, 中村春基, 吉尾雅春, 高屋成利. チームアプローチを通して復職支援を行った小脳腫瘍術後の一例. 回復期リハビリテーション病棟協会第 43 回研究大会. 熊本, 2024 年 3 月
- 上野奨太, 吉尾雅春. 遷延性意識障害を呈した若年びまん性脳損傷者に対して歩行練習を実施した回復期の理学療法経過. 第 61 回日本リハビリテーション医学会学術大会. 東京. 2024 年 6 月
- 高橋航, 武部優希, 伊藤直城, 増田知子, 高屋成利, 吉尾雅春. 道順障害を呈した右後頭皮質下出血の一例. 回復期リハビリテーション病棟協会, 第 43 回研究大会. 熊本, 2024 年 3 月
- 高橋航, 武部優希, 伊藤直城, 吉尾雅春. 多発外傷により運動機能障害と注意機能低下を呈した患者に対して自転車運転再開を目指した取り組み. 第 61 回日本リハビリテーション医学会学術大会. 東京. 2024 年 6 月
- 高橋航, 武部優希, 伊藤直樹, 川元芳彦, 高屋成利, 吉尾雅春. 進行性核上性麻痺患者のすくみ足に対して歩行開始前の運転イメージによる逆説性歩行練習が効果を示した報告. 第 22 回日本神経理学療法学会学術大会. 福岡. 2024 年 9 月
- 高橋航, 武部優希, 吉尾雅春. 複数の転倒歴がある進行性核上性麻痺の症例 - 自宅退院を見据えた回復期リハビリでの取り組み. 第 12 回慢性期リハビリテーション学会. 横浜. 2024 年 11 月
-
- 黒田歩, 吉尾雅春. 姿勢の修正に抵抗を伴う **Body lateropulsion** を認めた小脳腫瘍摘出術後の後下小脳動脈梗塞例. 第 3 回日本前庭理学療法研究会学術集会. 福岡. 2024 年 6 月
- 黒田歩, 吉尾雅春. 重度の運動麻痺に対して起立・スクワット運動に大腿四頭筋への神経筋電気刺激を用いた 1 例. 第 61 回日本リハビリテーション医学会学術大会. 東京. 2024 年 6 月
- 上野奨太, 吉尾雅春. 重度意識障害を呈する若年成人外傷性脳損傷例の回復期にお

ける意識改善と帰結—シングルケーススタディー. 第 22 回日本神経理学療法学会
学術大会. 福岡. 2024 年 9 月

- 木村祥吾, 上野奨太, 吉尾雅春. 座位保持困難からトイレ動作自立・見守り歩行獲得に至った右被殻出血例の経過と考察. 回復期リハビリテーション病棟協会第 43 回研究大会. 熊本, 2024 年 3 月
- 木村祥吾, 上野奨太, 吉尾雅春. 重度歩行障害から自立歩行と階段昇降を獲得したブラウンセカール症候群例の回復期における理学療法経過報告. 第 36 回大阪府理学療法学会学術大会. 大阪, 2024 年 7 月
- 木村祥吾, 上野奨太, 高屋成利, 吉尾雅春. 受動的な前方への重心誘導が有効であった backward disequilibrium を呈する脳卒中患者: 症例報告. 第 22 回日本神経理学療法学会学術大会. 福岡, 2024 年 9 月
- 河原竜二, 廣谷和香, 吉尾雅春. 右円蓋部髄膜腫の開頭腫瘍摘出術後に歩行障害を呈した症例に対する治療経験. 第 36 回大阪府理学療法学会学術大会. 大阪, 2024 年 7 月
- 後藤祐貴, 伊藤直城, 川元芳彦, 増田知子, 吉尾雅春. 身体機能低下および精神状態不安定となって再入院された右被殻出血症例の自宅退院に至るまでの経過. 第 36 回大阪府理学療法学会学術大会. 大阪, 2024 年 7 月
- 後藤祐貴, 武部優希, 伊藤直城, 川元芳彦, 吉尾雅春. 姿勢安定性及び非麻痺側単脚立脚期に対して介入した結果、歩行速度が向上した左被殻出血後の重度右片麻痺例. 第 22 回日本神経理学療法学会学術大会. 福岡, 2024 年 9 月
- 上村奈穂子, 熊倉勇美, 名古将太郎, 羽田樹生. 右陳旧性脳梗塞および左視床出血により重度 dysarthria を呈した症例に対して PLP を適応し、構音訓練を実施した経験. 第 25 回日本言語聴覚学会. 神戸, 2024 年 6 月
- 仲田敦子, 熊倉勇美, 豊雅子, 羽田樹生. 脳梗塞を繰り返し、新に右上下肢の運動麻痺および感覚障害と中等度 dysarthria を呈した症例の ST 評価と訓練. 第 25 回日本言語聴覚学会. 神戸, 2024 年 6 月
- 桜井史明. 3 食経管栄養管理患者による GLIM criteria を用いた退院時の FOIS スケールの検討. 第 30 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会. 福岡, 2024 年 8 月
- 中井晴香, 上野奨太, 吉尾雅春. 後方への特異的な身体傾斜を呈した脳出血例の回復経過と考察. 第 36 回大阪府理学療法学会学術大会. 大阪, 2024 年 7 月
- 中井晴香, 上野奨太, 吉尾雅春. 歩行進路の偏倚が実用歩行獲得を阻害していた脳卒中者に対する歩行補助具の検討. 第 22 回日本神経理学療法学会学術大会. 福岡, 2024 年 9 月
- 村田桃花, 熊倉勇美, 弘前充嗣. 急性大動脈乖離の手術後に脳梗塞を発症、軽度認知症を疑われ、音声障害を呈した一例に対する ST の取り組み. 回復期リハビリテー

ション病棟協会第 43 回研究大会. 熊本, 2024 年 3 月

- 山浦大輝,吉尾雅春.広範囲な延髄外側梗塞による動作時のふらつきを呈した症例の経過について. リハビリテーション・ケア合同研究大会. 山梨, 2024 年 10 月
- 黒田歩,吉尾雅春.遷延性意識障害に対して抗重力位の運動療法と右正中神経刺激を併用し意識状態の改善が得られた一例. 第 22 回日本神経理学療法学会学術大会. 福岡, 2024 年 9 月
- 向井康人, 武部優希, 川元芳彦, 吉尾雅春. 左被殻出血患者に対する非麻痺側歩幅拡大による麻痺側筋活動,遊脚期の股関節と膝関節角度への影響. 第 22 回日本神経理学療法学会学術大会. 福岡, 2024 年 9 月
- 中村祥子, 橋本康子, 慢性期看護, リハビリテーションの視点は災害現場でも役立つ～能登半島地震を通して～, 日本慢性期医療学会, 横浜, 2024 年 11 月 8 日
- 高江洲翼, 木下香代, 川上大地, 小山さおり, 入浴・更衣の自立を目指したリハビリテーション介護, 日本慢性期医療学会, 第 32 回日本慢性期医療学会, 横浜, 2024 年 11 月
- 恩庄美樹 高江洲翼, 木下香代, 小山さおり, リハビリ病院介護職の教育システム～業務マニュアル作成と技術研修会への取り組み日本慢性期医療学会, 第 32 回日本慢性期医療学会, 横浜, 2024 年 11 月
- 夏原耀一,中村春基,吉尾雅春.段階的な生活行為目標が本人の主体性を向上させた髄膜腫術後の一例.第 43 回回復期リハビリテーション病棟協会 in 熊本.熊本.2024 年 3 月.
- Yoichi Natuhara, So Takayama, Megumi Nakamura, Haruki Nakamura, Masaharu Yoshio. A case of thalamic hemorrhage with rehabilitation based on community characteristics ~ Seamless transition from recovery to home visits at the hospital ~. 8th APOTC. Sapporo. 2024; 11.
- Shuhei Itami, Katsuhiko Watanabe, Haruki Nakamura. Dose “KIZUKI” change people? - The Impact of Outing and Overnight Training in the Rehabilitation Hospital -. 8th APOTC. Sapporo. 2024; 11.
- 夏原耀一, 上野奨太, 中村春基, 吉尾雅春, 合田文則, 橋本康子. 回復期リハビリテーション病棟における在宅療養に向けた外泊練習の効果と意義について. 第 32 回日本慢性期医療学会. 横浜. 2024 年 11 月
- 田村哲也, 上野奨太, 吉尾雅春. 後方への突っ張りを伴う姿勢障害を呈した一症例に対する介入方法の考察. 第 22 回日本神経理学療法学会学術大会. 福岡, 2024 年 9 月
- 細川真由, 夏原耀一, 中村春基, 吉尾雅春. ナラティブスロープの使用が不安軽減に繋がった化膿性脊椎炎の一例. 第 58 回日本作業療法学会. 北海道 (札幌), 2024 年 11 月

- 細川真由,夏原耀一,中村春基,吉尾雅春. 記憶障害を呈する自己免疫性辺縁系脳炎患者に対する職場復帰支援の取り組み.第 38 回大阪府作業療法学会.大阪.2024 年 12 月
- 菅原大地,夏原耀一,林敦史,西田克彦,中村春基.回復期リハビリテーション病棟入院中から通学を開始し復学に至った症例.第 58 回日本作業療法学会.北海道(札幌),2024 年 11 月
- トムソン和美,夏原耀一,鈴木愛,吉尾雅春.脱抑制のある患者への多職種協働チームでの関わり,画像診断から始まった身体拘束解除の試み.第 32 回日本慢性期医療学会.横浜.2024 年 11 月
- 篠原雪,渡部勝大,中村春基,石川明美.高次脳機能障害がある患者に興味関心チェックリストを活用し,IADL再構築を図った例.第 32 回日本慢性期医療学会.横浜.2024 年 11 月
- 武部優希,川元芳彦,吉尾雅春.脳卒中後片麻痺症例の歩行速度向上における大腿-下腿角速度の変化.
第 22 回日本神経理学療法学会学術大会. 福岡, 2024 年 9 月
- 伊藤直城,高屋成利.回復期に続く訪問リハビリテーションにより著明な機能回復を果たした運動軸索障害型ギランバレー症候群.第 61 回日本リハビリテーション医学会学術大会. 東京. 2024 年 6 月
- 伊藤直城,高屋成利,吉尾雅春.脳出血患者の歩行予後に関連する脳領域:頭部 CTを用いた Voxel based lesion symptom mapping 解析.第 22 回日本神経理学療法学会学術大会. 福岡, 2024 年 9 月
- 中垣咲希,森涼子,中村春基,吉尾雅春.外傷性脳出血を呈した症例に対して回復過程に応じた課題指向型アプローチにより自宅退院に至った一例.第 38 回大阪府作業療法学会. 大阪. 2024 年 12 月
- 山岡慎,森涼子,中村春基,吉尾雅春.ADOC-Hを用いて麻痺手の使用を管理することで箸操作自立に至った症例.第 38 回大阪府作業療法学会. 大阪. 2024 年 12 月
- 深山 温,中村春基.身体面・環境面からの介入で食事の介助量が軽減した高位頸髄損傷例.第 32 回日本慢性期医療学会.横浜.2024 年 11 月
- 門田玖美,田村哲也,吉尾政春.放線冠梗塞により運動麻痺を呈した変形性膝関節症寒邪に対し実用歩行獲得に向けた取り組み.第 32 回日本慢性期医療学会.横浜.2024 年 11 月